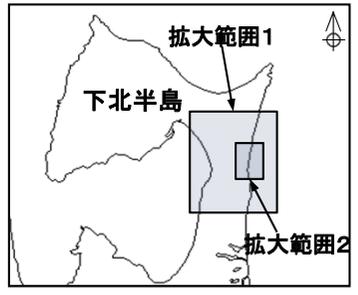


東通原子力発電所の補足調査期間の見直しについて

1. 調査位置

凡例

- 地質確認ボーリング
- 一切山東方断層確認ボーリング
- 反射法地震探査測線
- 一切山東方断層(F-1断層)



拡大範囲1
拡大範囲2
VSP探査実施箇所
東通原子力発電所
原子炉建屋設置位置
東北電力(株)東通原子力発電所
東京電力HD(株)所有地
一切山東方断層(F-1断層)

出典: 国土地理院ウェブサイト
<http://maps.gsi.go.jp/#13/41.179946/141.392155>
 「地理院地図(電子国土Web)データ」(国土地理院)をもとに東北電力株式会社作成

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の20万分の1地勢図を複製したものである。
 (承認番号平25情復 第808号)

2. 補足調査のスケジュール(見直し後)

調査項目	～3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
調査準備	■							
① 反射法地震探査(VSP探査を含む)		■	■	■			■ (VSP探査)	■ (VSP探査)
		■	■	■	■	■	■	■
② 地質確認ボーリング		■	■	■	■	■	■	■
③ 一切山東方断層確認ボーリング		■	■	■	■	■	■	■

凡例 ■ 当初計画 ■ 見直し後

3. VSP探査の概要

●震源車(中型バイブレータ 1台)
 全幅:1.8m 全長:6.1m
 全高:2.5m 重量:8.4t

●震源車(大型S波震源 1台)
 *ボーリング孔口で使用
 全幅:2.3m 全長:6.9m
 全高:3.1m 重量:8t

●VSP探査の原理

震源車で地面に与えた振動が地下で反射屈折して地震計に到達する時間を孔中地震計で測定し、そのデータを解析して地下の構造を解明します。

- VSP (Vertical Seismic Profiling) 探査とは、地下構造を把握するための調査方法の一つ。具体的には、震源車(振動装置を搭載した車両)を用いて、地表で人工的に振動を発生させ、ボーリング孔内に伝わった振動を孔内に設置した地震計で観測することで、ボーリング孔周辺の地下構造について、より高精度の解析が期待できる。
- 通常の反射法地震探査(通常は地震計を地上に設置して振動を観測する)と組み合わせることにより、さらに詳細な地下構造を把握することが可能。
- 地質確認ボーリング(計3本)を対象としたVSP探査は9月末に終了予定。一切山東方断層確認ボーリング(最深部(600m)まで掘削した1本)を対象としたVSP探査は10月末までに終了予定。